

別表第5 (第10条関係)

## 需要種別への原価配分式

機能別原価		原単位			供給約款料金原価		非規制需要料金原価		旧特定ガス大口供給料金原価	
		配分基準		原単位	配分基準	金額	配分基準	金額	配分基準	金額
変動費計	A円	年間販売量	$E m^3$	$A/E [=a]$	$E-(I+M)$	$A-(Ia+Ma)$	I	$I \times a [=Ia]$	M	$M \times a [=Ma]$
製造需要原価固定費計	B円	ピーク月使用量	$F m^3$	$B/F [=b]$	$F-(J+N)$	$B-(Jb+Nb)$	J	$J \times b [=Jb]$	N	$N \times b [=Nb]$
供給需要原価固定費計	C円	延メーター通過量	$G m^3$	$C/G [=c]$	$G-(K+O)$	$C-(Kc+Oc)$	K	$K \times c [=Kc]$	O	$O \times c [=Oc]$
需要家原価計	D円	延供給地点数	$H$ 地点	$D/H [=d]$	$H-(L+P)$	$D-(Ld+Pd)$	L	$L \times d [=Ld]$	P	$P \times d [=Pd]$

(注) 1. 機能別原価の欄は、別表第4の配分後合計額を記入。なお、変動費計については、別表第4の製造需要原価及び供給需要原価の変動費の合計を記入。

## 2. 配分基準の欄

- (1) ピーク月使用量は、供給約款分、非規制需要供給条件分及び旧特定ガス大口供給分の合計のピーク月における使用量（実績又は想定）。
- (2) 延メーター通過量は、供給約款分、非規制需要供給条件分及び旧特定ガス大口供給分の合計とし、延メーター通過量の算定方法は各メーター使用最大流量×各需要家数×12ヶ月の合計とする。
- (3) 延供給地点数は、供給地点数×12ヶ月の合計。